

「大学生の障害と病いに関する意識調査」

単純集計表

金沢大学 JST/RISTEX プロジェクト「自閉症に優しい社会」

実施期間 2010年7月～2011年1月

■ あなたご自身についてお伺いします。

問 1 性別

性別	度数	パーセント
1. 男性	989	58.2
2. 女性	711	41.8
合計	1700	100.0

(欠損値：1 ケース)

問 2 出身都道府県 (地域ごとに集計)

地域	度数	パーセント
北海道	16	0.9
東北	39	2.3
関東	83	4.9
甲信越	159	9.4
北陸	957	56.4
東海	279	16.5
近畿	115	6.8
中国	19	1.1
四国	12	0.7
九州・沖縄	9	0.5
海外	8	0.5
合計	1696	100.0

(欠損値：5 ケース)

問 3 あなたが生まれたのは何年ですか。

生年 (年)	度数	パーセント
1984 以前	10	0.6
1985	8	0.5
1986	15	0.9
1987	32	1.9
1988	123	7.3
1989	294	17.4
1990	457	27.0
1991	627	37.0
1992	127	7.5
合計	1693	100.0

(欠損値：8 ケース)

問 4 あなたが入学したのは何年ですか。

入学年	度数	パーセント
2006 以前	23	1.4
2007	121	7.2
2008	317	18.8
2009	496	29.4
2010	731	43.3
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

■ 障害と病いについてお尋ねします。

問 6 (1) あなたはこれまで日常生活において、身体障害のある人と接する機会はありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	度数	パーセント	欠損値
	1701	100.0	—
1. 家族にいた	117	7.0	24
2. 親戚にいた	116	6.9	24
3. 友人にいた	179	10.7	24
4. クラスメイトや研究室にいた	509	30.4	24
5. 近所にいた	269	16.0	23
6. そのような機会はなかった	620	36.9	23
7. その他	195	11.6	23

*選択肢に反応した者の人数と欠損値を除いた人数に対する比率

問 6 (2) では、知的障害や発達障害、精神障害のある人と接する機会はありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	度数	パーセント	欠損値
	1701	100.0	—
1. 家族にいた	43	2.6	18
2. 親戚にいた	85	5.1	18
3. 友人にいた	157	9.3	18
4. クラスメイトや研究室にいた	747	44.4	18
5. 近所にいた	313	18.6	18
6. そのような機会はなかった	422	25.1	18
7. その他	250	14.9	18

*選択肢に反応した者の人数と欠損値を除いた人数に対する比率

問7 これまで学校などで、身体障害者や知的障害、発達障害、精神障害などについての講演や授業を受けたことがありますか。つぎの1～4の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント
1. うけたことはない	459	27.1
2. 一度だけある	94	5.6
3. 数度ある	1011	59.7
4. たくさんある	129	7.6
合計	1693	100.0

(欠損値：8 ケース)

問8 以下にあげる障害や病いについて、どの程度ご存じですか。以下のa～iのそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 注意欠陥多動性障害 (ADHD)

	度数	パーセント
1. まったく知らない	1025	60.3
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	304	17.9
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	308	18.1
4. 名前も内容もよく知っている	62	3.6
合計	1699	100.0

(欠損値：2 ケース)

b. 脳卒中

	度数	パーセント
1. まったく知らない	13	0.8
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	526	30.9
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	912	53.6
4. 名前も内容もよく知っている	250	14.7
合計	1701	100.0

c. 広汎性発達障害 (PDD)

	度数	パーセント
1. まったく知らない	1279	75.5
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	292	17.2
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	101	6.0
4. 名前も内容もよく知っている	22	1.3
合計	1694	100.0

(欠損値：7 ケース)

d. 自閉症

	度数	パーセント
1. まったく知らない	24	1.4
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	499	29.4
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	973	57.3
4. 名前も内容もよく知っている	201	11.8
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

e. 学習障害 (LD)

	度数	パーセント
1. まったく知らない	499	29.5
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	683	40.3
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	433	25.6
4. 名前も内容もよく知っている	79	4.7
合計	1694	100.0

(欠損値：7 ケース)

f. アスペルガー症候群

	度数	パーセント
1. まったく知らない	672	39.5
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	602	35.4
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	314	18.5
4. 名前も内容もよく知っている	112	6.6
合計	1700	100.0

(欠損値：1 ケース)

g. がん

	度数	パーセント
1. まったく知らない	5	0.3
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	117	6.9
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	950	55.9
4. 名前も内容もよく知っている	626	36.9
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

h. 高機能自閉症

	度数	パーセント
1. まったく知らない	853	50.5
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	519	31.5
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	220	13.3
4. 名前も内容もよく知っている	76	4.6
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

i. 性同一性障害

	度数	パーセント
1. まったく知らない	13	0.8
2. 名前は知っているが、内容はよくわからない	270	15.9
3. 名前は知っており、内容も多少知っている	1079	63.4
4. 名前も内容もよく知っている	339	19.9
合計	1701	100.0

問9 これまでに、養護学校、盲学校、ろう学校、あるいは特別支援学校・学級などに在学する障害のある児童・生徒と交流したことがありますか。つぎの1～4の中からもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント
1. 1回だけ、交流したことがある	231	13.6
2. 2～9回、交流したことがある	550	32.4
3. 10回以上、交流したことがある	194	11.4
4. 交流したことはない	725	42.6
合計	1700	100.0

(欠損値：1 ケース)

問 10 (1) 学校に障害のある人がいた場合、あなたはどのように接していましたか。つぎの 1～6 の中からもっともあてはまるもの 1 つに ○をつけてください。

	度数	パーセント
1. 仲良くしていた	79	4.7
2. 普通に接していた	953	57.1
3. 関わりを避けていた	287	17.2
4. 勉強の邪魔になっていると感じたことがあった	31	1.9
5. いなければいいのにと感じたことがあった	24	1.4
6. 障害のある人はいなかった	294	17.6
合計	1668	100.0

(欠損値：33 ケース)

問 10 (2) その理由について教えてください。

	度数	パーセント
記述なし	596	35.0
記述あり	1105	65.0
合計	1701	100.0

問 11 障害のある児童はどのような学級・学校ですごすのがよいと思いますか。つぎの 1～4 の中からもっともあてはまるもの 1 つに ○をつけてください。

	度数	パーセント
普通学校の通常学級	124	7.3
普通学校の特別支援学級 (特殊学級・養護学級)	620	36.5
特別支援学校	251	14.8
場合による	705	41.5
合計	1700	100.0

(欠損値：1 ケース)

問 12 障害のある児童がどのような学級・学校で過ごすかは、最終的には誰が決めるべきだと思いますか。つぎの 1～6 の中からもっともあてはまるもの 1 つに ○をつけてください。

	度数	パーセント
児童本人	792	46.6
本人以外の家族	365	21.5
学校の教師	43	2.5
医師などの専門家	202	11.9
わからない	236	13.9
その他	60	3.5
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

■ 自閉症のことについておうかがいします。

問 13 あなたは、自閉症についてどのように思いますか。a～f のそれぞれについて、つぎの 1～5 の中からもっともあてはまるもの 1 つに ○をつけてください。

a. 自閉症は心の病である

	度数	パーセント
1. そう思う	362	21.3
2. どちらかといえばそう思う	571	33.6
3. どちらかといえばそう思わない	178	10.5
4. そう思わない	364	21.4
5. わからない	224	13.2
合計	1699	100.0

(欠損値：2 ケース)

b. 自閉症の原因は遺伝である

	度数	パーセント
1. そう思う	57	3.4
2. どちらかといえばそう思う	154	9.1
3. どちらかといえばそう思わない	230	13.5
4. そう思わない	794	46.8
5. わからない	463	27.3
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

c. 自閉症者とは家に閉じこもりがちの人のことだ

	度数	パーセント
1. そう思う	27	1.6
2. どちらかといえばそう思う	194	11.4
3. どちらかといえばそう思わない	231	13.6
4. そう思わない	1079	63.5
5. わからない	168	9.9
合計	1699	100.0

(欠損値：2 ケース)

d. いまの社会が自閉症を生み出している

	度数	パーセント
1. そう思う	53	3.1
2. どちらかといえばそう思う	367	21.6
3. どちらかといえばそう思わない	281	16.6
4. そう思わない	605	35.7
5. わからない	390	23.0
合計	1696	100.0

(欠損値：5 ケース)

e. 自閉症の原因は脳機能の障害である

	度数	パーセント
1. そう思う	230	13.5
2. どちらかといえばそう思う	604	35.6
3. どちらかといえばそう思わない	200	11.8
4. そう思わない	175	10.3
5. わからない	489	28.8
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

f. 自閉症になるのは親の育て方が悪いからだ

	度数	パーセント
1. そう思う	15	0.9
2. どちらかといえばそう思う	93	5.5
3. どちらかといえばそう思わない	210	12.4
4. そう思わない	1162	68.4
5. わからない	219	12.9
合計	1699	100.0

(欠損値：2 ケース)

問 14 自閉症の子どもをめぐる問題に対して、学校教育はどのように取り組むのがよいと思いますか。a～f のそれぞれについて、つぎの 1～5 の中からもっともあてはまるもの 1 つ に○をつけてください。

a. 学校現場にいる教師の意見や考えを重視すべきである

	度数	パーセント
1. そう思う	144	8.5
2. どちらかといえばそう思う	460	27.1
3. どちらともいえない	734	43.3
4. どちらかといえばそう思わない	247	14.6
5. そう思わない	112	6.6
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

b. 自閉症の子どもの親の意見や考えを重視すべきである

	度数	パーセント
1. そう思う	248	14.6
2. どちらかといえばそう思う	788	46.4
3. どちらともいえない	507	29.9
4. どちらかといえばそう思わない	101	6.0
5. そう思わない	53	3.1
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

c. 専門的な知識を持つ医師や臨床心理士の意見や考えを重視すべきである

	度数	パーセント
1. そう思う	380	22.4
2. どちらかといえばそう思う	965	56.9
3. どちらともいえない	284	16.7
4. どちらかといえばそう思わない	56	3.3
5. そう思わない	12	0.7
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

d. 自閉症の子ども本人の意見や考えを重視すべきである

	度数	パーセント
1. そう思う	454	26.9
2. どちらかといえばそう思う	728	43.1
3. どちらともいえない	396	23.4
4. どちらかといえばそう思わない	81	4.8
5. そう思わない	31	1.8
合計	1690	100.0

(欠損値：11 ケース)

e. 教職員や子ども、保護者など、すべての学校関係者で話し合いながら、取り組みを進めていくべきである

	度数	パーセント
1. そう思う	780	46.0
2. どちらかといえばそう思う	645	38.0
3. どちらともいえない	193	11.4
4. どちらかといえばそう思わない	46	2.7
5. そう思わない	33	1.9
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

f. 国や地方自治体が決めた一律で平等な基準で、取り組みを進めていくべきである

	度数	パーセント
1. そう思う	92	5.4
2. どちらかといえばそう思う	238	14.0
3. どちらともいえない	528	31.1
4. どちらかといえばそう思わない	503	29.6
5. そう思わない	336	19.8
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

問 15 つぎの意見について、どのように思いますか。a～eのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

a. 自閉症の子どものために、独自の学級や学校を作るべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	127	7.5
2. どちらかといえばそう思う	406	23.9
3. どちらともいえない	639	37.6
4. どちらかといえばそう思わない	334	19.7
5. そう思わない	192	11.3
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

b. 自閉症の子どもが行きたい学校を自由に選択できるようにすべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	365	21.5
2. どちらかといえばそう思う	798	47.0
3. どちらともいえない	373	22.0
4. どちらかといえばそう思わない	109	6.4
5. そう思わない	53	3.1
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

c. 自閉症の子どもは、医療行為や教育・訓練を受けて、可能なかぎり普通学校や通常学級に適應できるようになるべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	292	17.2
2. どちらかといえばそう思う	730	43.0
3. どちらともいえない	485	28.6
4. どちらかといえばそう思わない	135	8.0
5. そう思わない	55	3.2
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

d. 自閉症の子どもが、学校でほかの子どもと一緒に過ごすことは問題が多い

	度数	パーセント
1. そう思う	123	7.2
2. どちらかといえばそう思う	523	30.8
3. どちらともいえない	678	40.0
4. どちらかといえばそう思わない	261	15.4
5. そう思わない	112	6.6
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

e. 自閉症の子どもが、ほかの子どもと一緒に過ごせるように、普通学校や通常学級の環境を整えるべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	347	20.4
2. どちらかといえばそう思う	778	45.8
3. どちらともいえない	405	23.9
4. どちらかといえばそう思わない	113	6.7
5. そう思わない	55	3.2
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

■障害に関することについておうかがいします。

問 16 障害のある人の生活について、あなたはどのように思いますか。a～f のそれぞれについて、次の 1～5 の中からもっともあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

a. 障害のある人の生活は家族や親類だけで支えるほうがよい

	度数	パーセント
1. そう思う	22	1.3
2. どちらかといえばそう思う	60	3.5
3. どちらともいえない	217	12.8
4. どちらかといえばそう思わない	669	39.4
5. そう思わない	730	43.0
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

b. 障害のある人の生活は行政や地域住民みんなで支えるほうがよい

	度数	パーセント
1. そう思う	621	36.6
2. どちらかといえばそう思う	795	46.8
3. どちらともいえない	212	12.5
4. どちらかといえばそう思わない	52	3.1
5. そう思わない	18	1.1
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

c. 友達になるのに障害の有無は関係ない

	度数	パーセント
1. そう思う	677	39.9
2. どちらかといえばそう思う	598	35.2
3. どちらともいえない	306	18.0
4. どちらかといえばそう思わない	76	4.5
5. そう思わない	40	2.4
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

d. 障害のある人が困っている様子を見かけたら、声をかける

	度数	パーセント
1. そう思う	337	19.9
2. どちらかといえばそう思う	663	39.1
3. どちらともいえない	544	32.1
4. どちらかといえばそう思わない	103	6.1
5. そう思わない	49	2.9
合計	1696	100.0

(欠損値：5 ケース)

e. 障害のある人は施設や病院で生活する方がよい

	度数	パーセント
1. そう思う	32	1.9
2. どちらかといえばそう思う	105	6.2
3. どちらともいえない	600	35.3
4. どちらかといえばそう思わない	599	35.3
5. そう思わない	362	21.3
合計	1698	100.0

(欠損値：3 ケース)

f. 障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	185	10.9
2. どちらかといえばそう思う	572	33.7
3. どちらともいえない	749	44.1
4. どちらかといえばそう思わない	134	7.9
5. そう思わない	57	3.4
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

問 17 あなたはつぎにあげる意見について、どのように思いますか。a～dのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 自分の身体や精神の障害は、できるだけ早くわかったほうがよい

	度数	パーセント
1. そう思う	1006	59.3
2. どちらかといえばそう思う	550	32.4
3. どちらともいえない	127	7.5
4. どちらかといえばそう思わない	9	0.5
5. そう思わない	5	0.3
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

b. 大学に入学する時点で何らかの診断テストを行い、障害を発見した方がよい

	度数	パーセント
1. そう思う	427	25.2
2. どちらかといえばそう思う	590	34.8
3. どちらともいえない	447	26.3
4. どちらかといえばそう思わない	142	8.4
5. そう思わない	91	5.4
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

c. 何らかの障害がわかった時点で、直ちに本人に伝えるべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	497	29.3
2. どちらかといえばそう思う	549	32.4
3. どちらともいえない	542	31.9
4. どちらかといえばそう思わない	85	5.0
5. そう思わない	24	1.4
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

d. 病いや障害のことは、医師などの専門家にまかせたほうがよい

	度数	パーセント
1. そう思う	226	13.3
2. どちらかといえばそう思う	547	32.2
3. どちらともいえない	555	32.7
4. どちらかといえばそう思わない	282	16.6
5. そう思わない	87	5.1
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

問 18 あなたはつぎにあげることについて、どのように思いますか。a～eのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 日本では障害を理由にした差別が多くある

	度数	パーセント
1. そう思う	600	35.4
2. どちらかといえばそう思う	785	46.3
3. どちらともいえない	241	14.2
4. どちらかといえばそう思わない	47	2.8
5. そう思わない	24	1.4
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

b. たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい

	度数	パーセント
1. そう思う	367	21.6
2. どちらかといえばそう思う	857	50.5
3. どちらともいえない	372	21.9
4. どちらかといえばそう思わない	75	4.4
5. そう思わない	26	1.5
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

c. 子どもたちが幼稚園・保育所で障害のある子どもと一緒に過ごすことは問題が多い

	度数	パーセント
1. そう思う	132	7.8
2. どちらかといえばそう思う	418	24.6
3. どちらともいえない	567	33.4
4. どちらかといえばそう思わない	395	23.3
5. そう思わない	185	10.9
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

d. 障害のある人が自立して生活していくことは難しい

	度数	パーセント
1. そう思う	194	11.4
2. どちらかといえばそう思う	696	41.0
3. どちらともいえない	526	31.0
4. どちらかといえばそう思わない	225	13.3
5. そう思わない	56	3.3
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

e. 障害のある人もない人も、ともに生活できるための環境づくりを積極的にすすめていくべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	758	44.7
2. どちらかといえばそう思う	771	45.4
3. どちらともいえない	134	7.9
4. どちらかといえばそう思わない	19	1.1
5. そう思わない	15	0.9
合計	1697	100.0

(欠損値：4 ケース)

問 19 つぎにあげることについて、どのように思いますか。a～eのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 障害のある子どもが生まれたら、近所の人には隠しておきたい。

	度数	パーセント
1. そう思う	48	2.8
2. どちらかといえばそう思う	165	9.7
3. どちらともいえない	487	28.7
4. どちらかといえばそう思わない	502	29.6
5. そう思わない	494	29.1
合計	1696	100.0

(欠損値：5 ケース)

b. 障害があるからといって障害者を特別扱いするのはよくない

	度数	パーセント
1. そう思う	310	18.3
2. どちらかといえばそう思う	554	32.7
3. どちらともいえない	560	33.0
4. どちらかといえばそう思わない	202	11.9
5. そう思わない	70	4.1
合計	1696	100.0

(欠損値：5 ケース)

c. 障害はなくせるならなくしたほうがよい

	度数	パーセント
1. そう思う	702	41.4
2. どちらかといえばそう思う	660	38.9
3. どちらともいえない	253	14.9
4. どちらかといえばそう思わない	50	2.9
5. そう思わない	30	1.8
合計	1695	100.0

(欠損値：6 ケース)

d. 障害のある人は社会にとって有益な存在だと思う

	度数	パーセント
1. そう思う	60	3.5
2. どちらかといえばそう思う	199	11.7
3. どちらともいえない	960	56.6
4. どちらかといえばそう思わない	290	17.1
5. そう思わない	187	11.0
合計	1696	100.0

(欠損値：5 ケース)

e. 子どもが障害を持って生まれることは不幸なことだと思う

	度数	パーセント
1. そう思う	240	14.2
2. どちらかといえばそう思う	504	29.7
3. どちらともいえない	635	37.4
4. どちらかといえばそう思わない	172	10.1
5. そう思わない	145	8.5
合計	1696	100.0

(欠損値：5 ケース)

問 20 障害のある人たちに関するつぎの意見について、あなたはどのように思いますか。 a～e のそれぞれについて、1～5 の中からもっともあてはまるもの 1 つに ○をつけてください。

a. 障害のある人のためのボランティア活動に参加したい

	度数	パーセント
1. そう思う	141	8.3
2. どちらかといえばそう思う	534	31.5
3. どちらともいえない	610	36.0
4. どちらかといえばそう思わない	260	15.3
5. そう思わない	149	8.8
合計	1694	100.0

(欠損値：7 ケース)

b. 障害のある人もそうでない人も、地域のなかで一緒に暮らすべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	543	32.1
2. どちらかといえばそう思う	903	53.3
3. どちらともいえない	204	12.0
4. どちらかといえばそう思わない	31	1.8
5. そう思わない	13	0.8
合計	1694	100.0

(欠損値：7 ケース)

c. 障害のある人に関する記事や放送に関心をもって見聞きするほうだ

	度数	パーセント
1. そう思う	153	9.0
2. どちらかといえばそう思う	506	29.9
3. どちらともいえない	541	32.0
4. どちらかといえばそう思わない	329	19.4
5. そう思わない	164	9.7
合計	1693	100.0

(欠損値：8 ケース)

d. 道路、駅、建物などは、バリアフリーが不足している

	度数	パーセント
1. そう思う	457	27.0
2. どちらかといえばそう思う	640	37.8
3. どちらともいえない	413	24.4
4. どちらかといえばそう思わない	154	9.1
5. そう思わない	30	1.8
合計	1694	100.0

(欠損値：7 ケース)

e. 障害の有無に関係なく、胎児の命は同じように尊重すべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	1029	60.7
2. どちらかといえばそう思う	425	25.1
3. どちらともいえない	177	10.4
4. どちらかといえばそう思わない	41	2.4
5. そう思わない	22	1.3
合計	1694	100.0

(欠損値：7 ケース)

問 21 あなたは結婚や家庭生活についてどのようにお考えですか。a～j のそれぞれについて、つぎの 1～5 の中からもっともあてはまるもの 1 つに ○をつけてください。

a. 幸せな家庭を築けると思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	232	13.7
2. ややあてはまる	756	44.8
3. どちらともいえない	552	32.7
4. あまりあてはまらない	115	6.8
5. まったくあてはまらない	34	2.0
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

b. 円満な家庭生活を送れると思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	245	14.5
2. ややあてはまる	766	45.4
3. どちらともいえない	548	32.4
4. あまりあてはまらない	96	5.7
5. まったくあてはまらない	34	2.0
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

c. 家庭の中で自分はうまくやれると思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	248	14.7
2. ややあてはまる	736	43.6
3. どちらともいえない	555	32.9
4. あまりあてはまらない	120	7.1
5. まったくあてはまらない	30	1.8
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

d. 愛情豊かな家庭を築けると思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	309	18.3
2. ややあてはまる	756	44.8
3. どちらともいえない	505	29.9
4. あまりあてはまらない	82	4.9
5. まったくあてはまらない	36	2.1
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

e. 母親（父親）である自分が好きだと思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	221	13.1
2. ややあてはまる	519	30.7
3. どちらともいえない	736	43.6
4. あまりあてはまらない	158	9.4
5. まったくあてはまらない	54	3.2
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

f. 家庭の中では自分の能力を発揮できると思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	158	9.4
2. ややあてはまる	538	31.9
3. どちらともいえない	757	44.8
4. あまりあてはまらない	187	11.1
5. まったくあてはまらない	49	2.9
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

g. 私はよい母親（父親）になりそうだと思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	146	8.6
2. ややあてはまる	399	23.6
3. どちらともいえない	806	47.7
4. あまりあてはまらない	245	14.5
5. まったくあてはまらない	93	5.5
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

h. 自分の子どもとうまくやっていける自信がある

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	262	15.5
2. ややあてはまる	569	33.7
3. どちらともいえない	610	36.1
4. あまりあてはまらない	180	10.7
5. まったくあてはまらない	67	4.0
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

i. 私は家庭のために何かできると思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	370	21.9
2. ややあてはまる	782	46.3
3. どちらともいえない	425	25.2
4. あまりあてはまらない	93	5.5
5. まったくあてはまらない	18	1.1
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

j. 母親（父親）であることに充実感を感じると思う

	度数	パーセント
1. 非常にあてはまる	357	21.1
2. ややあてはまる	641	38.0
3. どちらともいえない	536	31.7
4. あまりあてはまらない	108	6.4
5. まったくあてはまらない	47	2.8
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

問 22 あなたが結婚して、家庭を築き、赤ちゃんが誕生したことを想像してください。その赤ちゃんに障害（身体障害・知的障害・精神障害・発達障害など）が見つかったとしたら、あなたはどのように感じると思いますか。想像して回答してください。a～fのそれぞれについて、1～5の中からもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 赤ちゃんが障害を持って生まれたのは、自分のせいだと思って自分を責める

	度数	パーセント
1. そう思う	129	7.6
2. どちらかといえばそう思う	467	27.6
3. どちらともいえない	452	26.7
4. どちらかといえばそう思わない	307	18.2
5. そう思わない	336	19.9
合計	1691	100.0

(欠損値：10 ケース)

b. 赤ちゃんが障害を持って生まれたのは、たまたま運が悪かっただけだ

	度数	パーセント
1. そう思う	262	15.5
2. どちらかといえばそう思う	564	33.4
3. どちらともいえない	561	33.2
4. どちらかといえばそう思わない	179	10.6
5. そう思わない	125	7.4
合計	1691	100.0

(欠損値：10 ケース)

c. 障害を持って生まれたことは天から与えられた贈り物だと思う

	度数	パーセント
1. そう思う	62	3.7
2. どちらかといえばそう思う	245	14.5
3. どちらともいえない	543	32.1
4. どちらかといえばそう思わない	411	24.3
5. そう思わない	430	25.4
合計	1691	100.0

(欠損値：10 ケース)

d. この子の人生には普通の人よりも困難が待ち受けているのだと思う

	度数	パーセント
1. そう思う	705	41.7
2. どちらかといえばそう思う	828	49.0
3. どちらともいえない	119	7.0
4. どちらかといえばそう思わない	25	1.5
5. そう思わない	13	0.8
合計	1690	100.0

(欠損値：11 ケース)

e. 障害があることを先に知っていたら、出産しなかった

	度数	パーセント
1. そう思う	92	5.4
2. どちらかといえばそう思う	138	8.2
3. どちらともいえない	606	35.9
4. どちらかといえばそう思わない	339	20.1
5. そう思わない	514	30.4
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

f. 自分の子どもが将来、障害児教育を受けることに抵抗を感じる

	度数	パーセント
1. そう思う	167	9.9
2. どちらかといえばそう思う	493	29.2
3. どちらともいえない	454	26.9
4. どちらかといえばそう思わない	363	21.5
5. そう思わない	210	12.4
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

g. 自分の子どもに障害があることを人に知られるのが怖い

	度数	パーセント
1. そう思う	101	6.0
2. どちらかといえばそう思う	390	23.1
3. どちらともいえない	475	28.2
4. どちらかといえばそう思わない	408	24.2
5. そう思わない	312	18.5
合計	1686	100.0

(欠損値：15 ケース)

h. ショックで絶望から立ち直れそうにない

	度数	パーセント
1. そう思う	86	5.1
2. どちらかといえばそう思う	196	11.6
3. どちらともいえない	519	30.8
4. どちらかといえばそう思わない	432	25.6
5. そう思わない	454	26.9
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

i. この子は幸せになれないと思う

	度数	パーセント
1. そう思う	49	2.9
2. どちらかといえばそう思う	103	6.1
3. どちらともいえない	434	25.7
4. どちらかといえばそう思わない	540	32.0
5. そう思わない	562	33.3
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

j. 障害があっても、なんとかして普通の学校へ通って欲しい

	度数	パーセント
1. そう思う	172	10.2
2. どちらかといえばそう思う	446	26.4
3. どちらともいえない	675	40.0
4. どちらかといえばそう思わない	260	15.4
5. そう思わない	134	7.9
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

k. 普通の子どもと同じように生活できるように治療・訓練したい

	度数	パーセント
1. そう思う	427	25.3
2. どちらかといえばそう思う	787	46.7
3. どちらともいえない	328	19.4
4. どちらかといえばそう思わない	97	5.7
5. そう思わない	48	2.8
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

l. これから先のことを考えると気分が落ち込む

	度数	パーセント
1. そう思う	173	10.3
2. どちらかといえばそう思う	511	30.3
3. どちらともいえない	594	35.2
4. どちらかといえばそう思わない	266	15.8
5. そう思わない	143	8.5
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

m. 自分は障害のある子の親として十分うまくやっていける

	度数	パーセント
1. そう思う	60	3.6
2. どちらかといえばそう思う	173	10.3
3. どちらともいえない	828	49.1
4. どちらかといえばそう思わない	465	27.6
5. そう思わない	160	9.5
合計	1686	100.0

(欠損値：15 ケース)

n. 自分の子どもが障害を持って生まれたことによって、自分の知らない世界を知ることができると思う

	度数	パーセント
1. そう思う	386	22.9
2. どちらかといえばそう思う	755	44.8
3. どちらともいえない	400	23.7
4. どちらかといえばそう思わない	101	6.0
5. そう思わない	45	2.7
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

o. 障害を個性として認めたい

	度数	パーセント
1. そう思う	281	16.6
2. どちらかといえばそう思う	642	38.0
3. どちらともいえない	526	31.2
4. どちらかといえばそう思わない	153	9.1
5. そう思わない	86	5.1
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

p. この子には、健常者が持たない特殊な能力が備わっているかもしれない

	度数	パーセント
1. そう思う	278	16.5
2. どちらかといえばそう思う	554	32.8
3. どちらともいえない	556	33.0
4. どちらかといえばそう思わない	176	10.4
5. そう思わない	123	7.3
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

q. 自分が思い描いていた人生とかけ離れてしまったと思う

	度数	パーセント
1. そう思う	165	9.8
2. どちらかといえばそう思う	412	24.4
3. どちらともいえない	645	38.2
4. どちらかといえばそう思わない	296	17.5
5. そう思わない	170	10.1
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

r. 何が起ころうとも、うまく切り抜けられる

	度数	パーセント
1. そう思う	65	3.9
2. どちらかといえばそう思う	205	12.1
3. どちらともいえない	780	46.2
4. どちらかといえばそう思わない	458	27.1
5. そう思わない	180	10.7
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

s. 他のこと比べたりせず、自分のことは自分の子でいいんだと思える

	度数	パーセント
1. そう思う	296	17.5
2. どちらかといえばそう思う	584	34.6
3. どちらともいえない	618	36.6
4. どちらかといえばそう思わない	143	8.5
5. そう思わない	47	2.8
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

■ 社会に関することについておうかがいします。

問 23 つぎの意見について、あなたはどのように思いますか。a～hのそれぞれについて、
つぎの1～5の中からもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 国民全体が幸福でなければ、個人の幸福はあり得ない

	度数	パーセント
1. そう思う	109	6.5
2. どちらかといえばそう思う	315	18.7
3. どちらともいえない	472	27.9
4. どちらかといえばそう思わない	399	23.6
5. そう思わない	394	23.3
合計	1689	100.0

(欠損値：12 ケース)

b. 国や社会のことを考えるのは、自分の生活の充実をもっと追求してからでよい

	度数	パーセント
1. そう思う	150	8.9
2. どちらかといえばそう思う	465	27.5
3. どちらともいえない	587	34.8
4. どちらかといえばそう思わない	363	21.5
5. そう思わない	123	7.3
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

c. 福祉などの社会サービスを充実させるために使われるならば、税金が増えてもかまわな
い

	度数	パーセント
1. そう思う	212	12.6
2. どちらかといえばそう思う	593	35.1
3. どちらともいえない	564	33.4
4. どちらかといえばそう思わない	226	13.4
5. そう思わない	93	5.5
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

d. 自分で選択したことなら、たとえどんなに悪い結果になっても自分で責任をとるべきだ

	度数	パーセント
1. そう思う	442	26.2
2. どちらかといえばそう思う	767	45.5
3. どちらともいえない	353	20.9
4. どちらかといえばそう思わない	100	5.9
5. そう思わない	25	1.5
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

e. 自分で選択したことなら、困っても公的な制度に頼るべきではない

	度数	パーセント
1. そう思う	80	4.7
2. どちらかといえばそう思う	227	13.4
3. どちらともいえない	611	36.2
4. どちらかといえばそう思わない	560	33.2
5. そう思わない	210	12.4
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

f. 社会の一員として、日ごろ何か社会のために役立ちたいと思っている

	度数	パーセント
1. そう思う	281	16.7
2. どちらかといえばそう思う	747	44.3
3. どちらともいえない	488	28.9
4. どちらかといえばそう思わない	118	7.0
5. そう思わない	53	3.1
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

g. 社会の問題はつきつめれば自分の問題である

	度数	パーセント
1. そう思う	188	11.1
2. どちらかといえばそう思う	480	28.5
3. どちらともいえない	607	36.0
4. どちらかといえばそう思わない	268	15.9
5. そう思わない	144	8.5
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

h. 自分はこれまでにたくさんの見知らぬ人から恩恵を受けてきたと感じる

	度数	パーセント
1. そう思う	830	49.2
2. どちらかといえばそう思う	597	35.4
3. どちらともいえない	214	12.7
4. どちらかといえばそう思わない	31	1.8
5. そう思わない	16	0.9
合計	1688	100.0

(欠損値：13 ケース)

問 24 差別に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a～f のそれぞれについて、

1～5 の中にもっともあてはまるもの 1 つ に○をつけてください。

a. 差別について深く知ることによって、差別をなくすることができる

	度数	パーセント
1. そう思う	325	19.3
2. どちらかといえばそう思う	639	37.9
3. どちらともいえない	341	20.2
4. どちらかといえばそう思わない	198	11.7
5. そう思わない	184	10.9
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

b. 差別される側の気持ちを考えることは難しい

	度数	パーセント
1. そう思う	316	18.7
2. どちらかといえばそう思う	584	34.6
3. どちらともいえない	318	18.9
4. どちらかといえばそう思わない	353	20.9
5. そう思わない	116	6.9
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

c. いまの世の中には、差別される人々を保護するためとして、いきすぎた逆差別がある

	度数	パーセント
1. そう思う	331	19.6
2. どちらかといえばそう思う	481	28.5
3. どちらともいえない	602	35.7
4. どちらかといえばそう思わない	209	12.4
5. そう思わない	62	3.7
合計	1685	100.0

(欠損値：16 ケース)

d. 差別される人々とあまり接触しないほうが、社会のなかで問題が生じることが少ない

	度数	パーセント
1. そう思う	87	5.2
2. どちらかといえばそう思う	251	14.9
3. どちらともいえない	618	36.7
4. どちらかといえばそう思わない	479	28.4
5. そう思わない	251	14.9
合計	1686	100.0

(欠損値：15 ケース)

e. 差別があるのは、差別される側にも原因があるからだ

	度数	パーセント
1. そう思う	118	7.0
2. どちらかといえばそう思う	308	18.3
3. どちらともいえない	664	39.4
4. どちらかといえばそう思わない	358	21.2
5. そう思わない	239	14.2
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

f. この世の中で、差別がなくなることはない

	度数	パーセント
1. そう思う	735	43.6
2. どちらかといえばそう思う	569	33.7
3. どちらともいえない	310	18.4
4. どちらかといえばそう思わない	52	3.1
5. そう思わない	21	1.2
合計	1687	100.0

(欠損値：14 ケース)

■ 最後に、あなたのご家族について、さしつかえのない範囲でお知らせください。

問 25 あなたのお父さんが最後に卒業した（または現在通っている）学校は、つぎのどれにあたりますか。1つに○をつけてください。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

	度数	パーセント
1. 中学校	28	1.7
2. 高等学校	521	31.5
3. 短期大学・高等専門学校	106	6.4
4. 大学	880	53.3
5. 大学院	99	6.0
6. その他	18	1.1
合計	1652	100.0

(欠損値：49 ケース)

問 26 あなたのお母さんが最後に卒業した（または現在通っている）学校は、つぎのどれにあたりますか。1つに○をつけてください。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

	度数	パーセント
1. 中学校	16	1.0
2. 高等学校	609	36.8
3. 短期大学・高等専門学校	537	32.4
4. 大学	461	27.8
5. 大学院	20	1.2
6. その他	13	0.8
合計	1656	100.0

(欠損値：45 ケース)

問 27 あなたのご家庭の、現在の暮らしむきについてどう思われますか。もっともあてはまるもの 1つに○ つけてください。

	度数	パーセント
1. 良い	609	36.6
2. どちらかといえば良い	504	30.3
3. 良くも悪くもない	381	22.9
4. どちらかといえば悪い	127	7.6
5. 悪い	43	2.6
合計	1664	100.0

(欠損値：37 ケース)